

## 「万葉古代学研究所彙報」

平成十五年度

三月 一日 友の会共催の「木簡をよむ」で、松尾光総括研究員（以下、研究員と略す）が「文字の成立を語る木簡」を講義。つづいて勾艶軍海外研修員が「日本と中国のちがい」を講演。

三月一三日 ボランティア新年度研修に、松尾光研究員・井上さやか主任研究員（以下、研究員と略す）が講師を務める。

三月一五日 「万葉古代学研究所年報」二号を発行。

三月二二日 「万葉故地の確定・データ化と歴史的景観再現事業」（奈良女子大学地域貢献特別支援事業）の第六回研究会に、松尾光研究員・井上さやか研究員が出席。

三月三一日 榊田好数研究所次長が退任。

平成十六年度

四月 一日 志野保則総務課長が研究所次長に就任。

四月一九日 友の会共催の「万葉集をよむ」で、井上さやか研究員が「春のうた」を講義。

五月一五日 第二回委託共同研究について、「平城万葉の形成とその基盤に関する総合的研究」（研究代表者・梶川信

行日本大学教授）と決定して委託契約を締結。

五月一七日 友の会共催の「万葉集をよむ」で、井上さやか研究員が「夏のうた」を講義。

五月三〇日 万葉古代学研究所主宰共同研究の第一回公開シンポジウムについての打合せ

六月一九日 奈良県小学校教科等研究会社会科部会府県代表者会の会合（於・奈良県立万葉文化館）で、松尾光研究員が「飛鳥の歴史」を講演。

六月二八日 友の会共催の「万葉集をよむ」で、井上さやか研究員が「秋のうた」を講義。

七月 三日 第七回万葉古代学研究所講座で、寺川真知夫所長が「皇極（斉明）天皇について」を講演。

七月 四日 万葉古代学研究所委託共同研究（研究代表者・坂本信幸奈良女子大学教授）の平成十六年度第一回研究会を開催。

七月一七日 第八回万葉古代学研究所講座で、松尾光研究員が

「非情の女帝・持統」を講演。

七月一九日 友の会共催の「万葉集をよむ」で、井上さやか研究員が「冬のうた」を講義。

七月二二日 海外研修員として孟彤氏が赴任。

七月二四日 夏休み親子万葉教室の講師を、松尾光研究員が務め

る。

七月二五日 夏休み親子万葉教室の講師を、井上さやか研究員が務める。

七月三十一日～八月一日 第三回夏期セミナーを開催。講師・演題は松尾光研究員「遣唐使はどんな国書を持参したか」、井上さやか研究員「万葉研究と現代」、百橋明穂神戸大学教授「色の研究―古代美術と万葉の色―」、松田信彦主任研究員（以下、研究員と略す）「日本書紀の本文批判について」、上野誠副所長「文学以前と研究以前―わが悪戦苦闘から―」、藤井貞和東京大学教授「和歌研究と物語研究」。参加者は実数が十九名、のべ三十三人。

八月 三日 第二回委託共同研究（研究代表者・梶川信行日本大学教授）平成十六年度第一回研究会開催。

八月一八日～二五日 中国社会科学学院外国文学研究所主催・中国外国文学学会日本文学研究会（於・中国西安市）に寺川眞知夫所長・井上さやか研究員が参加。寺川所長は「仏教文学と説話文学」、井上研究員は「しぐれ考―日中比較文学をとおして―」と題して研究発表。

八月二〇日 第九回万葉古代学研究所講座で、上野誠副所長が「女性労働と万葉集」を講演。

奈良県学校給食センター所長研修会で、松尾光研究員が「万葉集と古代米」と題して講演。

八月二一日 親子万葉教室で、松田信彦研究員が講師を務める。

八月二二日 親子万葉教室で、松尾光研究員が講師を務める。

八月二八日 第十回万葉古代学研究所講座で、松田信彦研究員が「起点としての雄略朝」を講演。

八月三〇日 友の会共催の「万葉集をよむ」で、井上さやか研究員が「万葉集」と季節観」を講義。

八月三一日 万葉古代学研究所委託共同研究（研究代表者・坂本信幸奈良女子大学教授）の第二回研究会を開催。千田稔国際日本文化研究センター教授が講演。

九月 四日 第十一回万葉古代学研究所講座で、井上さやか研究員が「天平時代の歌と絵画」を講演。

九月 八日 「万葉故地の確定・データ化と歴史的景観再現事業」（奈良女子大学地域貢献特別支援事業）の合同打ち合わせ会に、志野保則次長・松田信彦研究員が出席。

九月一三日 友の会共催の「木簡をよむ」で、松尾光研究員が「出雲市青木遺跡出土の木簡について」を講義。

九月一九日 万葉古代学研究所主宰第一回共同研究「ユーラシア大陸と万葉集Ⅰ」の公開シンポジウムを開催。寺川眞知夫所長が総括報告をしたあと、辰巳正明國學院大學

教授・高橋孝信東京大学教授・月本昭男立教大学教授が基調報告。上野誠副所長が司会となり、岩城雄次郎日タイ文学者交流センター主宰・金岡基常葉学園大学客員教授・内藤磐早稲田大学高等学院教諭と松尾光研究員・松田信彦研究員・井上さやか研究員がコメンテーターとなってシンポジウムを行なう。参加者は二三名。

第二回委託共同研究（研究代表者・梶川信行日本大学教授）第二回研究会開催。

九月二〇日 万葉古代学研究所委託共同研究（研究代表者・坂本信幸奈良女子大学教授）の第三回研究会を開催。網干善教関西大学名誉教授が講演。

一〇月 八日 田原本町生涯学習課主催・第七回郷土学習講座（於・田原本町公民館）で、松尾光研究員が「万葉人の生活」と題して講演。

一〇月一〇日 美夫君志会十月例会で、井上さやか研究員が「行路の難」と題して研究発表。

一〇月一八日 友の会共催の「木簡をよむ」で、松尾光研究員が「呪符木簡について」を講義。

一〇月二四日 第六回かつらぎ万葉の里まつりで、井上さやか研究員が講師を務める。

一〇月三二日 万葉古代学研究所委託共同研究（研究代表者・坂本信幸奈良女子大学教授）の第四回研究会を開催。西宮一民皇學館大學名誉教授が講演。

一二月 八日 友の会共催の「古事記をよむ」で、松田信彦研究員が「国作り神話」を講義。

一二月二〇日 古事記学会十一月例会（於・國學院大學）で、松田信彦研究員が「いわゆる帝紀の記事から見た『日本書紀』の一性格」と題して研究発表。

一二月二八日 第二回委託共同研究（研究代表者・梶川信行日本大学教授）第三回研究会開催。

万葉古代学研究所委託共同研究（研究代表者・坂本信幸奈良女子大学教授）の第五回研究会を開催。永島福太郎関西学院大学名誉教授が講演。

友の会講座で、孟彤海外研修員が「日本の古典のなかの中国文学」と題して講演。

一二月 五日 全国大学国語国文学会冬季大会で、井上さやか研究員が「〈物色〉としての『日晚』—万葉集における四季の概念と造語力—」と題して研究発表。

一二月二一日「奈良女子大学地域貢献特別支援事業講演会／明日の奈良づくりを目指して」の第一講義／坂本信幸教授「奈良と万葉故地」（於・奈良女子大学記念館講堂）に、

松尾光研究員が参加。

二月二三日 友の会共催の「古事記をよむ」で、松田信彦研究員

が「天若日子神話」を講義。

一月二〇日 友の会共催の「古事記をよむ」で、松田信彦研究員

が「国譲り神話」を講義。

一月三〇日 第二回委託共同研究（研究代表者・梶川信行日本大  
学教授）第四回研究会開催。

「万葉故地の確定・データ化と歴史的景観再現事業」

（奈良女子大学地域貢献特別支援事業）の合同研究会

開催。

万葉古代学研究所委託共同研究（研究代表者・坂本

信幸奈良女子大学教授）の第六回研究会を開催。

◆専任研究員のおもな業績（平成十六年三月～平成十七年一月）  
松尾光

〔著書〕

○『白鳳天平時代の研究』（笠間書院刊）、平成十六年三月。

〔研究論文〕

○「山部と山守部」（『万葉古代学研究所年報』二号）、平成十六  
年三月。

○「畝火山の性別」（『翔』四十五号）、平成十六年六月。

〔その他〕

○「播磨国風土記」の世界に遊ぶ」（『翔』四十三号）、平成十六  
年三月。

○「松尾・櫃本誠一対談「風土記」を楽しむ」（播磨町郷土資料  
館編「特別展「輝く播磨国」記念対談記録集」）、平成十六年三  
月。

○「貧窮問答歌は社会科の教材たりうるか」（『磔』二二〇号）、  
平成十六年四月。

○「聖徳太子と片岡山伝説」（『歴史研究』五一五号）、平成十六  
年四月。

○「書評／青木和夫著『白鳳・天平の時代』（『日本歴史』六七  
二号）、平成十六年五月。

○「安万侶はいちども見たことがなかったのか」（高岡市万葉歴  
史館友の会「万葉を愛する会だより」四十号）、平成十六年五  
月。

○「呪われた釣針」（『歴史研究』五一八号）、平成十六年七月。

○「ヒコホノニギノミコト」など三項目（『別冊歴史読本』記  
紀神話」神名・伝承・系譜事典」二十九卷二十二号）、平成十  
六年七月。

○「万葉歌の魅力をさぐる①／息の緒に思ふ」（『天飛ぶ』九号）、

平成十六年七月。

○「散りいそぐ恋人たち」(「歴史研究」五一九号)、平成十六年八月。

○「魂の色、生霊の姿」(「歴史研究」五二〇号)、平成十六年九月。

○「揺れる領巾の呪力」(「歴史研究」五二一号)、平成十六年十月。

○「産経新聞」朝刊／奈良版「万葉集と遊ぶ」第四回・第八回・第十一回、平成十六年十月～十二月。

○「古事記」と「日本書紀」はどう違っているの」(「万葉図書・情報室だより」十号)、平成十六年十一月。

松田信彦

〔研究論文〕

○「日本書紀編纂についての一疑問」(「万葉古代学研究所年報」二号)、平成十六年三月。

〔研究発表〕

○「いわゆる帝紀の記事から見た『日本書紀』の一性格」(古事記学会十一月例会)、平成十六年十一月。

〔その他〕

○「描かれた万葉歌⑧／防人の歌」(「天飛ぶ」八号)、平成十六

年三月。

○担当執筆「タケミカツチノカミなど」二十項目(「別冊歴史読本／『記紀神話』神名・伝承・系譜事典」二十九卷二十二号)、平成十六年七月。

○「産経新聞」朝刊／奈良版「万葉集と遊ぶ」第五回・第九回・第十二回・第十三回、平成十六年十一月～十二月。

井上さやか

〔研究論文〕

○「秋芽子の形成―〈物色〉の倭製―」(「万葉古代学研究所年報」二号)、平成十六年三月。

〔研究発表〕

○「しぐれ考―日中比較文学をとおして―」(中国社会科学院外国文学学会日本文学研究会年会)、平成十六年八月。

○「行路の難―追ひて艱難を担み懐惆してよむこと―」(美夫君志会十月例会)、平成十六年十月。

○「〈物色〉としての『日晩』―万葉集における四季の概念と造語力―」(全国大学国語国文学会冬季大会)、平成十六年十二月。

〔その他〕

○担当執筆「アマテラスオオミカミ」など十六項目(「別冊歴史読本／『記紀神話』神名・伝承・系譜事典」二十九卷二十二号)、

平成十六年七月。

○「産経新聞」朝刊／奈良版「万葉集と遊ぶ」第三回・第七回・第十回・第十六回、平成十六年十月～平成十七年一月。

○「万葉歌の魅力をさぐる②／時雨にもみつ」(「天飛ぶ」十号)、平成十六年十一月。

○「新刊紹介／佐々木民夫氏著『万葉集歌のことばの研究』」(「美夫君志」第六十九号)、平成十六年十一月。